

一般質問 (4)



駅前広場整備が始動した田無駅南口

3 館合築複合化は絶対に田無庁舎敷地内で行うべき!
田無駅南口駅前広場
開発が始動した。中央図書館・田無公民館に大ホール機能を備えた3館合築複合化をPFIで行い、地域活性化と担税力強化を目的としたまちづくりを行うべきだ。市民会館建て替え案、市民広場に5階建て仮設庁舎建設案には断固反対する。
田無駅南口は、行政サービス拠点・商業中心拠点と位置づけられている。総合計画や都市計画マスタープランで示した将来像の実現に向けて

田無駅南口まちづくりを核にした担税力強化策こそ未来の力だ!
納田 さおり (無所属)

「交通・地域力・健康」もつと住みよいまちづくりを目指して!
森 信一 (民主改)

保谷庁舎に地域包括ケアセンターを実現せよ!
庁舎統合暫定案で健康課が防災センターに存置される。医師会・高齢者支援課・在宅療養連携支援センターを同地に集約し地域包括ケアセンターの創設を。
利便性や市民サービス確保の観点から検証する。
学校対応の強化や緊急初動訓練を行い、行政の緊急初動要員と顔の見える関係構築が必要だが対応は。
校長会を通じて学校防災の啓発に努める。先進事例や他自治体の情報提供、協議会同士の情報共有、緊急初動要員と連携した初動訓練など教育委員会と市長部局が連携して働きかける。

はなバス第4南ルート(本人と勤務する事業所)の休業補償等が近隣市では既に行われている。本市でも早期に始めることができないか。
法律等の趣旨に鑑み、先行した自治体の状況等を踏まえて検討する。
各種がん検診の中で受診年齢を偶数年齢としているものがあがるが、初回に限り、奇数・偶数関係なく受けたいと思ったときに受診できるように変更すべきではないか。
乳がん及び子宮頸がん検診については、現在見直しに向けた検討を行っている。

市長は平成28年11月7日に記者会見を行い、2期目にチャレンジすることを目指した。その決意を問う。また再選した場合、次の4年間の取り組みを問う。
引き続き第2次総合計画の施策推進、さらには

市長選挙について 民間賃貸住宅の入居支援について
田中 のりあき (自民)



丸山市長、2期目の出馬へ! 4年間の成果と今後の西東京市について問う
市長は11月7日に1月29日公示、2月5日投票の西東京市長選挙に2期目の出馬を表明した。この4年間の成果と今後の課題について問う。
大変厳しい財政状況の中で、さまざまな分野で市民サービスの向上を図り、新たな行政課題へも対応をしてきた。引き続き改革を進めながら、地域がそれぞれの特徴を生かした自立的、持続的な社会を創出し、市民の皆様とともに健康応援都市を構築したい。
庁舎統合方針決定へ!
市長は庁舎統合方針(案) 改定版で市の方針を年内に決定すると表明しているが、改めて庁舎統合の意味について問う。

丸山市長が2期目に挑戦! 西東京市の未来のために全力を!
浜中 のりかた (自民)

総合戦略の基軸に掲げた健康応援都市「西東京市」の実現に向けて全力で取り組むことが責務であると考え、引き続き市政運営を担いたいと決意を表明した。
市長と再び市政を進める議論ができることを楽しみに待っている。
本市では保証人が見つからない等の理由により民間賃貸住宅への入居や居住継続が困難な方に対し、市と協定を結んだ保証会社



西武柳沢駅周辺について
10年以内に整備着手を予定しているが、工程は。
28年度から10年以内に整備着手できるように実施計画の中で整理する。
指定管理者制度を活用しさらに民間活力や育成の取り組みが必要だ。小さな公園においてコミュニティビジネスやワークショップなどが集まる仕組みづくりをするべきだ。見解は。
課題等を整理し公園配置計画の中で検討する。
東伏見公園の有効活用を図り多様な市民ニーズに応えるべきだ。地域と連携したイベント実施に向け

と協力して、住宅探しや保証契約のあっせんを行う住宅サービスネットを開始した。取り組み内容と実績を問う。
28年度から高齢者等を対象に、家賃保証会社を依頼して、民間賃貸住宅を探す手伝いを行っている。保証人が見つからないために入居が困難な場合には、家賃保証会社との保証委託契約をあっせんし、一定の要件を満たす場合は、保証料の一部を市が助成する。
平成28年7月から開始し、11月時点で16件の相談があり、3件が入居に至った。

市長の政治姿勢について
フレイル、F・C、谷戸バス停
小林 たつや (自民)

もつと健康!もつと健康に! 丸山市政で進めるまちづくり!
酒井 こう一郎 (自民)

4年間の任期中に結論が出ていない2庁舎問題、3館合築について問う。
庁舎問題は、統合庁舎の位置や規模等を検討中で、年内に「庁舎統合方針」を決定したい。3館合築は、年内をめどとしていたが、これまでの意見等を踏まえ、改めて検討したい。
フレイル予防について問う。
フレイル状態は、フイジカル・メンタル・ソーシャルが重なり合うものとされ、健康寿命と平均寿命の近い離れが大きい。フレイル予防に取り組むに当たり、東京大学高齢社会総合研究機構と連携協定を結ぶ予定

医療と介護の連携を軸とした地域包括システムの構築が必要だ。専門的な知識を持つ丸山市長の強いリーダーシップを求めたい。
市のフィルムコミッションについて問う。
映画などの撮影場所以を誘致する本事業は、集客や地域の活性化を促す。
シネマ倶楽部の皆様を通じ、コンパティションの若い監督たちと市民を結ぶ橋渡しをしてほしい。
谷戸イチョウ公園付近のバス停について問う。
西武バスからは、地域商店会の協力も得ながら、関係機関との調整を進める予定と聞いている。

インフラ整備を実施せよ。
条件整備などの市民要望は東京都に伝える。
商店街のPR支援について
人口が20万人を超え人口増加傾向を活性化策に生かすべきだ。転入者を新たな消費者にするための商店会への支援策は。
消費者と商店会をつなげる取り組みは重要だ。引き続き商工会と連携し商店会活動のPR支援を行う。
その他質問等
観光振興事業について
市内産農産物の活用について
地域コミュニティの再構築について
下野谷遺跡について

市長 条件整備などの市民要望は東京都に伝える。
商店街のPR支援について
人口が20万人を超え人口増加傾向を活性化策に生かすべきだ。転入者を新たな消費者にするための商店会への支援策は。
消費者と商店会をつなげる取り組みは重要だ。引き続き商工会と連携し商店会活動のPR支援を行う。
その他質問等
観光振興事業について
市内産農産物の活用について
地域コミュニティの再構築について
下野谷遺跡について